

「想いが未来を拓く!!」

テーマ

「富士印刷の GX 経営に向けた道のり」

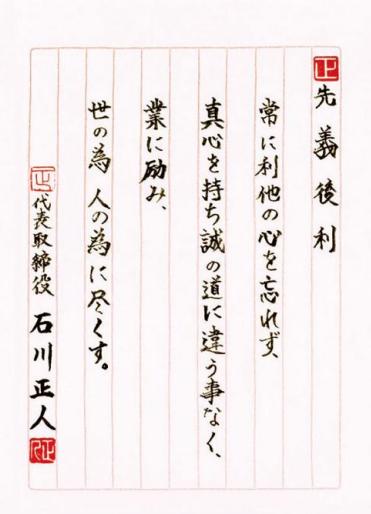


瀬戸内海から眺望した四国中央市

株式会社 富士印刷
代表取締役 石川 正人

社 是

せんぎこうり
「先義後利」



会社概要

設立年月日	昭和42年1月18日
資本金	1,000万円
社員数	49名
代表取締役	石川 正人
本 社	愛媛県四国中央市川之江町長須192
大野原工場	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
大野原第2工場	香川県観音寺市大野原町青岀165-1
観音寺工場	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1



作業風景



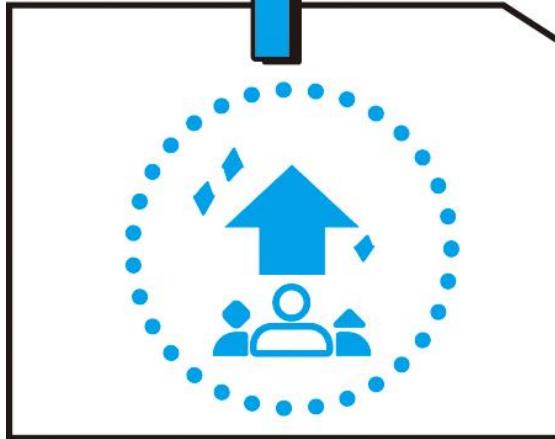
当社の経営戦略



書道パフォーマンス甲子園

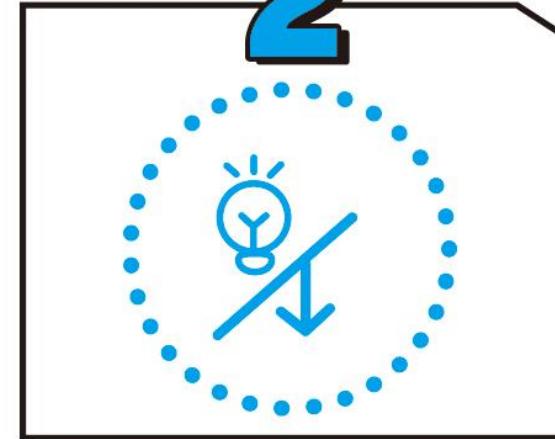
経営戦略的5要素

1



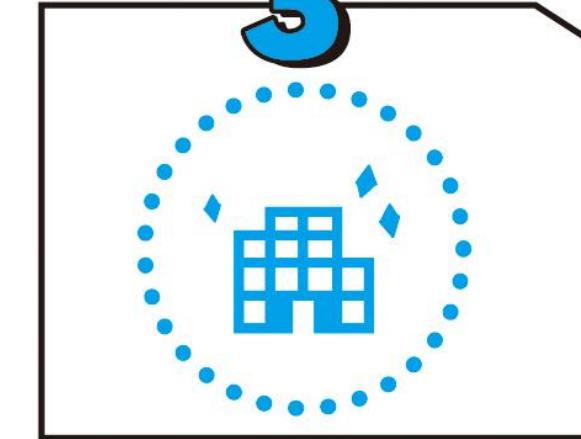
優位性の構築

2



光熱費・
燃料費の低減

3



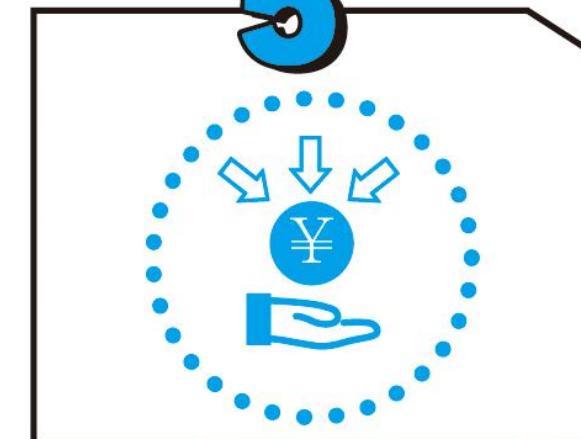
知名度・
認知度向上

4



社員の
モチベーション・
人材獲得力向上

5



好条件での
資金調達

G X
グリーントランク
フォーメーション

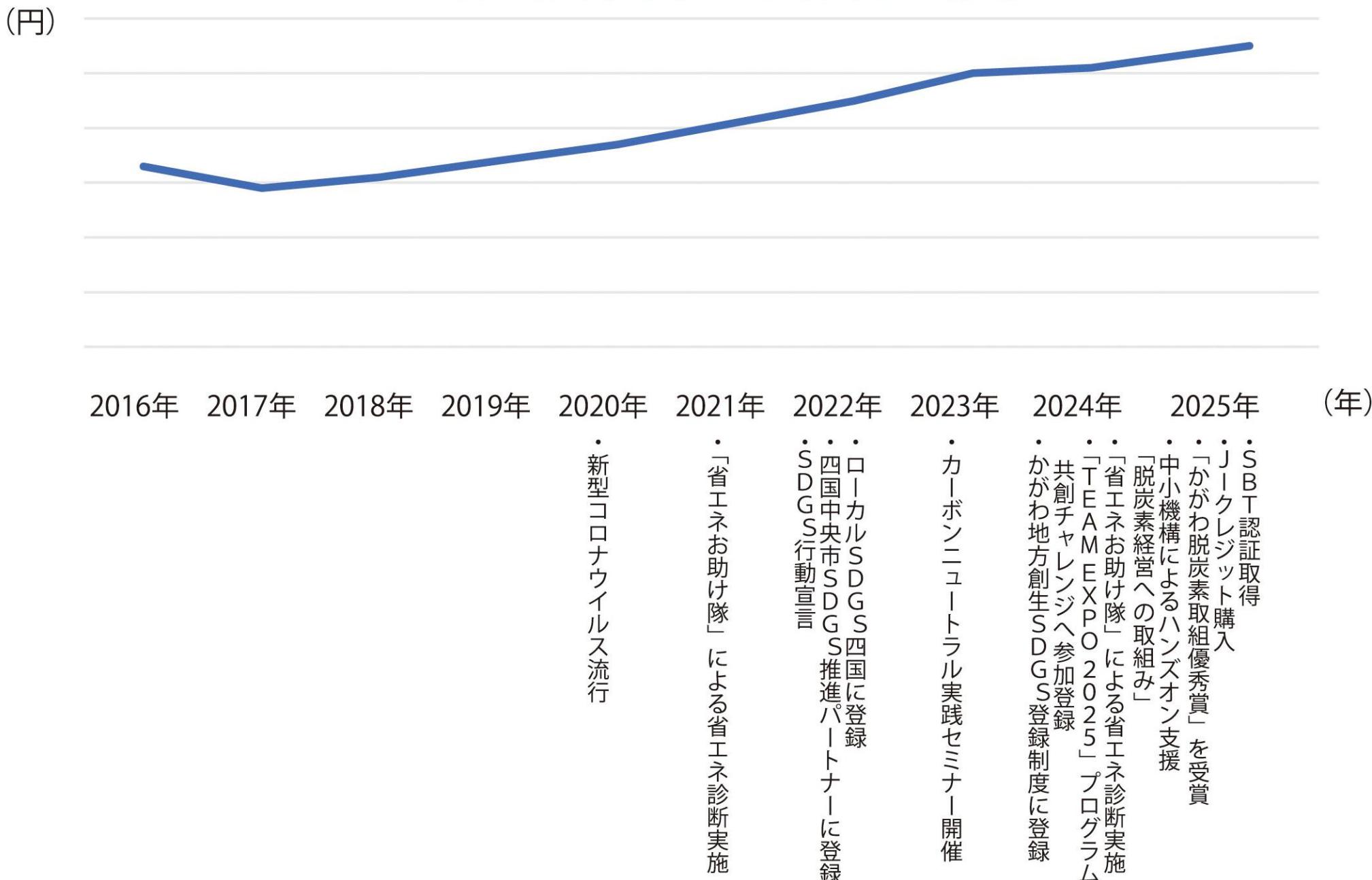
↓

G X 経営

- ・売上増加
- ・経費削減
- ・雇用確保
- ・資金繰り
- ・事業承継



株式会社富士印刷 売上推移

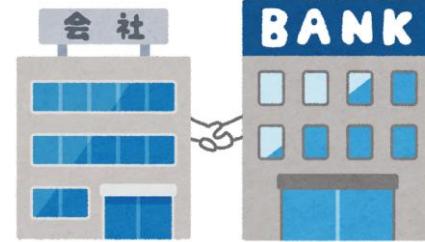


大手取引先において、サプライチェーンでの開示の義務化が見込まれる

S S B J 基準への対応の準備段階に入っています
(サステナビリティ基準委員会)

The screenshot shows the homepage of the SSBJ (Sustainability Disclosure Standards Board) website. At the top, there are logos for SSBJ, ASBJ (Accounting Standards Board Japan), and FASF (Financial Accounting Standards Board Japan). A search bar and language selection (JP | EN) are also at the top. Below the header, a breadcrumb navigation shows 'TOP > サステナビリティ開示基準 > サステナビリティ基準委員会がサステナビリティ開示基準を公表'. The main title 'サステナビリティ基準委員会がサステナビリティ開示基準を公表' is displayed prominently. A timestamp '2025年3月5日' and the name 'サステナビリティ基準委員会' are shown below the title. The text discusses the establishment of the committee by the International Sustainability Standards Board (ISSB) and its role in developing international sustainability disclosure standards. It also mentions the publication of three sustainability disclosure standards by the SSBJ. At the bottom, there are links for '公表にあたって' and a list of three standards: '1. サステナビリティ開示ユニーク・サル基準「サステナビリティ開示基準の適用」', '2. サステナビリティ開示テーマ別基準第1号「一般開示基準」', and '3. サステナビリティ開示テーマ別基準第2号「気候関連開示基準」'.

■ 着目点（当初の打ち手）



金融機関との連携の重要性

四国中央市は紙産業が盛んな地域

多くの金融機関から地元企業に金融面でご支援賜っている

人口 79,668人（令和7年10月末）

（銀行数13行・30店舗）

単なる資金供給機関で
よいか？



金融機関像

付加価値額を増大化
してくれる資金供給機関

付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

取引金融機関の営業担当者に全振り

困った

困った



後 日



アプローチ 実践手帳 実践内容 1 2 3 4 5.支援の体制 6.相談体制 7.問題事例

取引先の中長期的な取組の検討

■ 経営者の意思やありたい姿に向けて、将来的な機会の獲得やリスク緩和をし、取引先が既存事業をより持続可能なものへと変革するために何を実現していくべきかを、中長期的な視点で取引先と検討していることが重要である。

■ 中長期的な取組を行っていく際には、関連する取組が与える環境・社会への影響を把握し、将来的な目標を設定、その実現に向けた取組の進歩管理をするというオーソドックスなPDCAの手法が考えられる。

概要

実施事項（例）

- 現状把握
- 目標設定
- 実行
- 進捗管理

リスクや機会につながる取組の環境・社会へのインパクト、あるいは、そのインパクトの創出に関係する取組について可能な限り定量的に把握する。
(例: CO₂排出量、廃棄物排出量、プラスチック使用量等)

現状の取組についても適切に開示・公開することで、顧客が新規の販売先の獲得に向けたアピール材料となる。

上記で把握した事項について、将来的な目標を設定する。なお、可能な限り事業目標と連動して設定することが望ましい。
(指標例: 一袋あたりのプラスチック使用量、腐敗防止向けの包装供給量等)

設定した目標、実行内容、進捗状況を公開・開示することも関連するステークホルダーへの透明性を高め、信頼向上につながる可能性がある。

目標達成に向けて日々の取組を実施。必要に応じて、研究開発投資や設備投資を実行する。

設定した目標に向けた取組の実行において、必要な取引先や外部機関との連携も効果的な手段となりうる。

設定した目標に対して、どの程度進捗しているかを、定期的に管理する。
(金融機関としてもモニタリングの際に確認することが可能)

94

2021年9月

香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアムの 専門家派遣制度（2021年9月～2022年2月の約5ヵ月）を申請 脱炭素診断を受けてみてはどうか

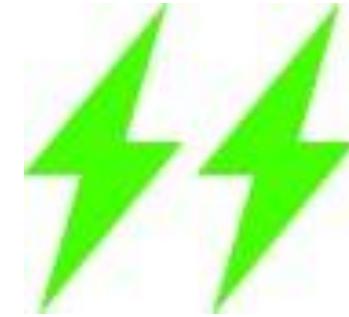
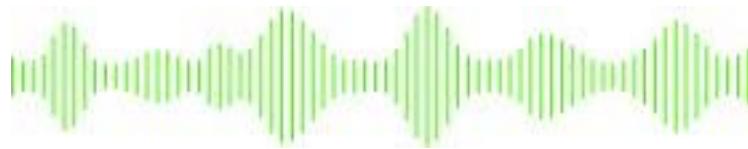


株式会社富士印刷のCO₂削減報告書をお作りいただく

香川県地域ESG脱炭素設備投資促進専門家派遣を始めます！

▲令和3年度 香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアム

専門家（エネルギー管理士）による脱炭素ポテンシャル診断



2022年2月

二酸化炭素排出量算定・削減報告書

省エネルギー診断報告書

株式会社富士印刷

御中



令和3年度 地域プラットフォーム構築事業
省エネルギー診断報告書

令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	大野原工場
事業所所在地	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社

株式会社富士印刷

御中



令和3年度 地域プラットフォーム構築事業
省エネルギー診断報告書

令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	観音寺工場
事業所所在地	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社

株式会社富士印刷 御中

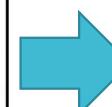
令和3年度香川県地域ESG脱炭素投資促進専門家派遣事業委託業務

株式会社富士印刷

二酸化炭素排出量算定・削減報告書

目次

- I 要約
- II 事業概要
- III CO2排出量算定
- IV CO2排出削減のポテンシャルと短期・中長期計画
- V 資料



報告書番号	450001014762
事業者住所	愛媛県四国中央市川之江町長須192
事業者名	株式会社富士印刷
事業所住所	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
事業所住所	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
経営責任者名	代表取締役 石川正人
業種	印刷業
主要製品・サービス	オフセット印刷 シール印刷
調査組織	一般社団法人エコエネ技術ネット
報告日	2022年2月28日
専門家	児玉 弘士 金光 良介 池田 正規 栗原 茂

脱炭素化に向け、大枠の構想を建てる

バックキャスティング

2030年

当社全体のCO₂排出量を
210tにする

現況約300t

(当社全体)2021年現在

2030年目標 30%減

90t削減

2028年

脱炭素に向けた
加工工場の新設



2024年

脱炭素に向けた
印刷工場の新設



2022年

脱炭素に向け専門家を
依頼し社内教育の実践



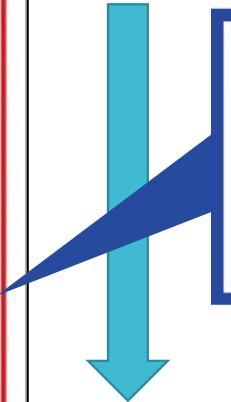
事業再構築の人材育成計画

SDGs 行動宣言

2022年3月



取引銀行で
SDGs推進計画を策定→宣言



項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
環境 脱炭素社会の実現	13 気候変動に具体的な対策を 7 積極的なエネルギーに取り組む	・製造工程における2021年度CO ₂ 排出量を2030年度迄に30%削減し、2050年度のCO ₂ ネットゼロを目指す ・温室効果ガスの削減に向けた、再生可能エネルギーの利用や省エネ対策の推進

四国経産局先進事例に
推薦される

2022年3月8日

株式会社 富士印刷【商業印刷 紙加工業】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- SDGs経営は「社長でもある『先見後利』の精神と相似する取り組みであり、自然に受け入れることができます。
- SDGs経営と真剣に向き合ったことが、新商品の開発、若手社員の雇用対策（奨学生返還支援制度への登録）など、新たな取り組みを始めるきっかけになった。

○SDGs経営に対する意識の変化

（はじめは世界標準のISO9001取得で、取り組みを開始）

・SDGs経営で取り組んでいたSDGsの意識が高まっています。

・SDGsの取り組みが社員の意識に反映されています。

・SDGsの取り組

補助金申請

新たなサービス提供への挑戦

本事業計画名： 2050年カーボンニュートラルに向けた地域脱炭素支援サービスへの新分野展開

事業概要： 2050年カーボンニュートラルに向け、二酸化炭素排出量算定・削減報告書に沿ったCO₂削減効果の高い設備投資と脱炭素印刷工場の新築を行い、省エネ型印刷サイクルの構築、自社ブランド商品「脱炭素グッズ！ 燐（ひうち）SDGsセット」を製造、啓発活動を通して金融機関など地元事業所に販路を確立し、地域の脱炭素社会への進展に貢献する

事業実施場所： 香川県観音寺市大野原町青岡 165-1, 166-1

表-IV.6 CO2排出量削減 短期・中長期投資ボテンシャル 大野原工場

CO2排出量削減投資 スケジュール(実績) 基準年: 2020年度 CO2排出量 2013.1~CO2/年

No.	件名	内容	エネルギー 種	优先順位	実施時期		エネルギー削減量		コスト削減		CO2排出量 減少と事業所影響		累積CO2排出量削減率	
					実施年 2024年度 ～2026年 ～2028年	中期 長期	削減率 M/L年 削減量 M/L年	削減率 千円/年 削減量 千円/年	削減率 本部所 削減量 本部所	削減率 1-CO2/L年 削減量 1-CO2/L年	削減率 本部所 削減量 本部所	削減率 実施終了年 削減量 実施終了年		
1	オフセット印刷機更新	オフセット印刷機（リスロンG40）を導入する更新を外設置することによって供給による工場内空調負荷が大幅に削減される。尚、印刷機更新には、補助金を活用する。 工場内及び事務所内の空調設定温度/空調房設	電気	1	○		5.7 5.7	662 662	11.0 11.0	5.5% 11.0	5.5%	2030年度目標 30% 2020年度目標 100%		
2	空調設定温度の見直し	空調設定温度時間短縮の見直し	電気	2	○		1.9 7.6	225 887	3.7 1.9%	14.8 7.3%				
3	空調房時間短縮の見直し	負荷が少ない、上って、空調房は負荷時及び暖房負荷時に空調装置の運転時間が長い。	電気	2	○		3.0 10.6	345 1,232	5.8 2.9%	20.6 10.2%				
4	エアコンブレッサフィルタ目詰まり	エアコンブレッサフィルタが目詰まりで起こっている。目詰まりを定期的に取り去りコンプレッサーの動力削減を図る。	電気	2	○		0.0 10.6	5 1,237	0.1 0.0%	20.7 10.3%				
5	エアコンブレッサフィルタ吐出圧力の低減	エアコンブレッサフィルタが目詰まりで起こっている。エアコンブレッサが運転負担を減らすために吐出圧力を低減している。設定圧力を0.1MPa下げて場合のエア流量を算出する。	電気	2	○		0.0 10.6	3 1,240	0.1 0.0%	20.7 10.3%				
6	コンプレッサの集中化	複数の各所に小型コンプレッサーが分散して設置して、張内に放出する熱を削減し、労作用電力を削減する。	電気	3	○		2.0 12.6	235 1,475	3.9 1.9%	24.7 12.2%				
7	全熱交換器の導入	導入設備は、導入料金など、生産設備の設置費用が嵩むる、設置へ全熱交換器を設置して冷暖房用の電力量を削減する。	電気	4	○		0.8 13.4	95 1,570	1.6 0.8%	26.2 13.0%				
8	加湿器に井戸水を使用	印刷工程で、加湿器は各所で駆動されています。また、ステレオ式	電気	5	○		1.4 14.9	165 1,735	2.8 1.4%	29.0 14.4%				
9	建物断熱強化	熱強化により空調用電力を削減する。	電気	6	○		4.9 19.7	573 2,308	9.6 4.7%	38.6 19.1%				
10	受変電設備更新	受変電設備の老朽化更新時に、適正負荷容量化とトップランナーフィルターの採用による損失30%削減を図る。	電気	6	○		0.0 19.8	2 2,310	0.0 0.0%	38.6 19.2%				
11	太陽光発電装置導入 I	CO2排出量削減及びピーク電力削減（電力需要量削減）のため、新工場屋上に太陽光発電装置を設置する。	電気	6	○		5.5 25.2	829 2,830	10.7 5.3%	49.3 24.0%				
12	太陽光発電装置導入 II	CO2排出量削減及びピーク電力削減（電力需要量削減）のため、新工場屋上に太陽光発電装置を設置する。	電気	6	○		2.7 27.9	254 3,083	5.2 2.6%	84.5 27.1%				
13	電動商用車への転換	工場外で使用する商用車の動力燃料（ガソリン）によるエンジン、電動モーターによる、使用電力は、現在の購入電力から政府機関によるCO2排出量削減率を考慮する。	ガソリン	6	○		1.7 29.6	-1 3,082	6.2 3.1%	60.7 30.1%				
14	電動製品等搬送車への転換	上記の転換によるEV化率（電力需要量削減率）によるエンジン、電動モーターによる、使用電力は、現在の購入電力から政府機関によるCO2排出量削減率を考慮する。	軽油	7	○		1.8 31.4	245 3,327	6.4 3.2%	67.1 33.3%				
合計							31.4 31.4	3,327 3,327	67.1 33.3%	67.1 33.3%				

補助金対象の設備

『機械装置費』オフセット印刷機・・・世界最高クラス ROI (ROI= 投資収益率) を実現できる印刷機
候補機種 最新式省エネ型 高効率高精度印刷機「リスロン G40 アドバンス」（小森コーポレーション）



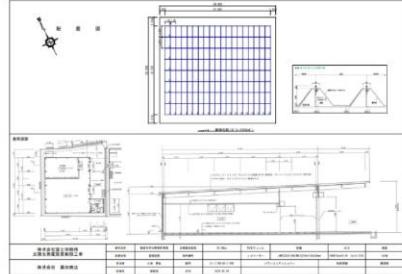
機種名	LITHRONE G40 advance
台数	2台
最大幅寸法	750×1,050
最小幅寸法	710×1,020
幅寸法	800×1,030
フィーダー倍率（最大）	1,150
デリバリー倍率（最大）	1,150

補助金対象外の設備

自社消費用 太陽光発電設備設置



脱炭素印刷工場の屋根部分に設置する



EV車、EVフォークリフトを導入して、電化部分をアピールする



電気で動く
持続化な
EVフォークリフト

実施

100%自家消費型太陽光発電



全工場EV化
プラッター

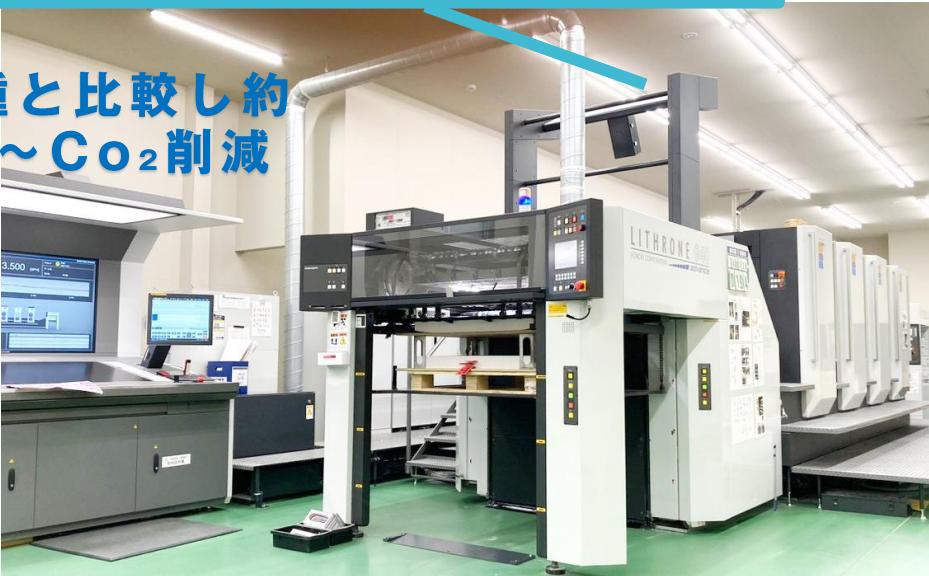


電力のデマンド
管理システム
(全工場設置)



国産省エネ型 最新フルスペック
オフセット印刷機

前機種と比較し約
20%～CO₂削減



国産EV車
導入



開示（公的Webサイト・自社HP等）

https://www.expo2025.or.jp/news/news-20201009-02/

万博を知る ニュース 万博を楽しむ 出展・協賛する 万博に参加する 協会情報 契約情報 language サイト内検索

HOME > ニュース > プレスリリース > 「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集開始

プレスリリース

2020.10.09

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集開始

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会は、大阪・関西万博の開催に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するため、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会と共に創り上げていくことを目指す取り組み「TEAM EXPO 2025」プログラムを本格スタートします。

新たな制度として、「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けた個々の活動である「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ（以下「共創チャレンジ」）と、共創チャレンジを創出し活動を支援する「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナー（以下「共創パートナー」）の制度を設け、募集を開始します。

本プログラムは、大阪・関西万博のテーマの実現を目指した具体的な活動を起こすものとしてこれまでに多くの実績があり、また、これまでに見据えた未来社会創出活動（共創チャレンジ）を数多く生み出し、その活動を結実させる

共創チャレンジ
株式会社 富士印刷



四国を中心からゼロカーボン発信

実践チャレンジ

2024.01.06

△ 13

法人

会員名	株式会社吉澤印刷
会員メンバー	株式会社吉澤印刷
登録の実施地域	日本/四国
登録年	
活動テーマ	樹木・インバウンド・地域活性化～ものづくり、サービス／出版・製造分野の貢献、アーティストの育成

■実践チャレンジの内容

吉澤印刷は2023年には、愛媛県四国中央市に新工場を落成し、吉澤印刷新工場にて新規事業として新規事業者様との連携や地域の導入を行いました。これにより、新規開拓に貢献された事例となり吉澤印刷の技術力と信頼性を強調し、地域貢献の少ない期間が印象に残りました。

今後も新規ブランド開拓、「地域活性化」、壁(ドラム)「SDGs」とセイツ」を実現する地域医療連携センターにより、地域市町村エリアでのSDGs実現活動を通して地域の医療機関や他への連携に意図していきたいです。

また、当時の医療機関を通じて「道の駅」さんなん、「旅館」さんなんは2度目に黒帯びれる予定です。周辺近くに位置し世界が見られるため、移住者の医療機関を経由してもらえる早い機会だと考えています。

吉澤印刷は、吉澤印刷新工場、新規の町へ吉澤新工場、新規事業から地域活性化を実現します。

■必要なリソース

人材・SNS等を利用し、地元の知識・資源を活かしながら取り組みができる人材

■実現したい目標

既往だけではなく、本拠へも実現していくことを考えていました。

■実践を実現する方々

- 吉澤印刷新工場の担当者・吉澤
- 吉澤チャレンジをご支援いただいた吉澤印刷、吉澤新工場

■大使・西日本博テクノマの便り

世界中から人が集まる大使館・西日本博において、日本の「地方創生SDGs」を国内外に発信する手法として、「民族的な夷しき」、「藝妓」など、「メッセージ」、オランダ語「オランダ・マンズ」が最も効果的であると考えられ、最近バフォーマンス展示EXPO（横浜大賞）が開催されました。同時に地元紹介という面からの協力をしていくといいです。

■連絡先

吉澤印刷新工場・吉澤新工場

Tel: 0875-27-6494 FAX: 0875-27-7951

E-mail: info@jgk.print.jp

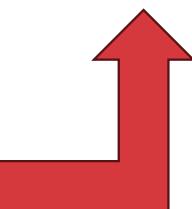
■この実践チャレンジを実現するためパートナー

Scope3の開示（中小企業では超レア！）

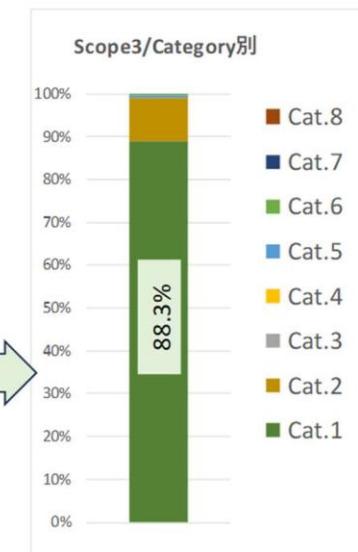
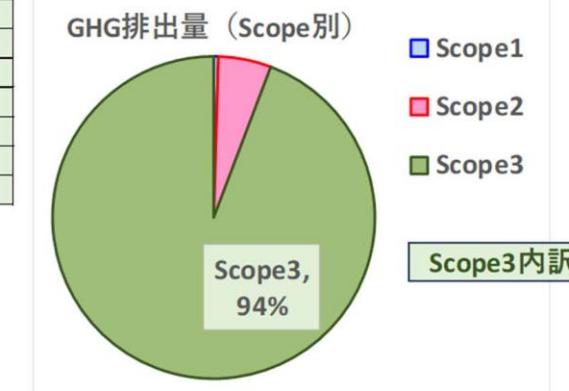
合計 / 取引金額	経費支出 額	経費支出 割合	GHG排出量 総計	GHG排出量 割合
カテゴリ別 行ラベル				
Cat.1 材料仕入高	45.5%	3,987.05	70.7%	
Cat.2 諸般販促費	14.1%	348.39	6.2%	
Cat.1 外注加工費	13.5%	37.14	0.7%	
Cat.1 補助材料費	4.6%	134.60	2.4%	
Cat.2 減価償却費	4.2%	128.35	2.3%	
Cat.1 原品仕入高	2.7%	188.42	3.3%	
Cat.1 原材料	2.3%	216.51	3.8%	
Cat.2 ソフトウェア	1.5%	9.83	0.2%	
Cat.1 等総費	1.3%	33.85	0.6%	
Cat.1 保険料	1.0%	5.93	0.1%	
Cat.1 消耗品費	0.9%	38.89	0.7%	
Cat.1 生命保険料	0.8%	4.91	0.1%	
Cat.2 機械及び装置	0.6%	17.35	0.3%	
Cat.1 書類旅費	0.5%	7.42	0.1%	
Cat.4 開送記録費	0.4%	6.48	0.1%	
Cat.1 旅費交通費	0.4%	9.72	0.2%	
Cat.1 保守料	0.3%	1.95	0.0%	
Cat.5 ごみ処理費用	0.3%	24.18	0.4%	
Cat.2 工具、器具及び備品	0.3%	5.50	0.1%	
Cat.1 通信交通費	0.2%	1.81	0.0%	
Cat.1 事務用消耗品費	0.2%	9.84	0.2%	
Cat.1 宅配費(他)	0.2%	4.44	0.1%	
Cat.1 厚生費	0.2%	4.27	0.1%	
Cat.4 並河源機具	0.2%	2.50	0.0%	
Cat.2 運動手袋	0.2%	20.33	0.4%	
Cat.5 一般償却費	0.2%	5.82	0.1%	
Cat.1 消費交通費	0.2%	12.73	0.2%	
Cat.7 雑費(他)	0.2%	7.12	0.1%	
Cat.1 車両費(他)	0.1%	3.70	0.1%	
Cat.1 備品消耗品費	0.1%	4.12	0.1%	
Cat.1 雑会費	0.1%	1.52	0.0%	
Cat.1 広告宣伝費	0.0%	0.51	0.0%	
Cat.1 試験研究費	0.0%	3.84	0.1%	
Cat.5 PS振替便発送	0.0%	11.23	0.2%	
Cat.1 水道料	0.0%	1.72	0.0%	
Cat.1 リース料	0.0%	-	0.0%	
Cat.1 鶴ヶ島市水道料	0.0%	0.57	0.0%	
Cat.8 賃借料	0.0%	-	0.0%	

Scope3とは、事業者の活動に関連するその他の排出
(Scope1、2以外の間接排出)

Scope1	26.4	(t)	0.5%	エネルギー使用量より算定
Scope2	300.5	(t)	5.3%	エネルギー使用量より算定
Scope3	5,303.7	(t)	94.2%	支出金額より算定
Cat.1	4715.5	(t)		
Cat.2	529.8	(t)		
Cat.3	1.1	(t)		
Cat.4	9.1	(t)		
Cat.5	35.4	(t)		
Cat.6	5.8	(t)		
Cat.7	7.1	(t)		
Cat.8	0.0	(t)		



決算書より
算出可能



SBT認証取得に挑戦



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2024.12.

某新聞 経済欄

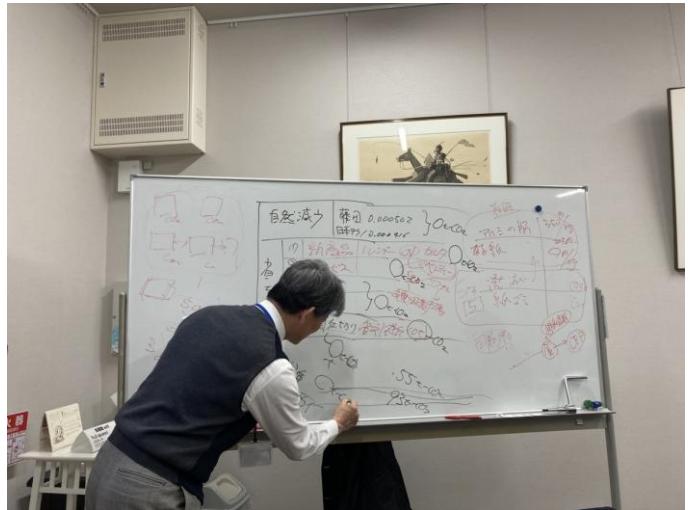
脱炭素経営認定
中小1,000社超え

SBT認証取得、2年で売上高〇倍
取引や採用で有利に



中小機構に支援依頼（ハンズオン）

聞き取り審査1回+支援3回（終日）



CO2算定

Scope 1 + Scope2

Scope1とは、企業が直接的に排出する温室効果ガス (GHG) を指します。 (ガソリンや軽油など)

Scope2とは、自社が購入した電気・熱等のエネルギーの使用に伴う間接的な排出のことと指します。具体的には、自社が購入して使用した電気、熱、冷水、蒸気などが排出源となります。

ワークシート①CO2排出量の算定（マーケットベース）

2018年度 Scope1+2 1) ガス・重油の場合 Scope1 (燃料) 314.53 t-CO2/年																			
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/GJ)	CO2変換		CO2排出量		月別使用量										
		数量	単位		数量	単位	[t-CO2/年]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	都市ガス	0.00	千m ³ /年	44.8 GJ/千m ³	0.0136	3.666667	0.00												
2	LPG	0.00	kg/t	50.8 GJ/t	0.0161	3.666667	0.00												
3	A重油	0.00	kg/t	39.1 GJ/t	0.0189	3.666667	0.00												
4	灯油	0.31 kL/年	kg/t	36.7 GJ/t	0.0185	3.666667	0.78												
5	軽油	5.56 kL/年	kg/t	37.7 GJ/t	0.0187	3.666667	14.39	0.5432	0.4508	0.4061	0.473	0.4119	0.4522	0.53569	0.52691	0.34633	0.34652	0.3778	
6	ガソリン	6.76 kL/年	kg/t	34.6 GJ/t	0.0183	3.666667	15.68	0.5292	0.4743	0.50765	0.6483	0.53205	0.6692	0.516	0.45811	0.68903	0.60186	0.5484	0.5882
							30.85	1.06512	0.9251	0.91375	1.1213	0.94395	1.1214	1.05169	1.02102	1.24853	1.05319	1.14492	1.024

2018年度 Scope 2 (購入電気) 283.68 t-CO2/年																				
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/kWh)	CO2排出量		月別使用量													
		数量	単位		数量	単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	系統1	521,478	kWh/年	藤田商店	0.000544		283.68	36,362	38,466	47,948	52,409	52,661	47,723	41,226	40,735	39,605	41,458	40,781	42,104	
2	系統2	0	kWh/年		0.00															
3	系統3	0	kWh/年		0.00															
	電気合計				283.68		36,362	38,466	47,948	52,409	52,661	47,723	41,226	40,735	39,605	41,458	40,781	42,104		

2019年度 Scope1+2 1) ガス・重油の場合 Scope1 (燃料) 430.66 t-CO2/年																				
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/GJ)	CO2変換		CO2排出量		月別使用量											
		数量	単位		数量	単位	[t-CO2/年]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	都市ガス	0.00	千m ³ /年	44.8 GJ/千m ³	0.0136	3.666667	0.00													
2	LPG	0.00	kg/t	50.8 GJ/t	0.0161	3.666667	0.00													
3	A重油	0.00	kg/t	39.1 GJ/t	0.0189	3.666667	0.00													
4	灯油	0.04 kL/年	kg/t	36.7 GJ/t	0.0185	3.666667	0.23													
5	軽油	6.22 kL/年	kg/t	37.7 GJ/t	0.0187	3.666667	16.08	0.50058	0.35194	0.48336	0.46461	0.42951	0.5349	0.5262	0.4793	0.78861	0.4768	0.477	0.70658	
6	ガソリン	7.65 kL/年	kg/t	34.6 GJ/t	0.0183	3.666667	17.76	0.5611	0.43897	0.60023	0.6962	0.66541	0.8055	0.6162	0.619	0.6065	0.79637	0.6081		
					34.07		1.06168	0.79091	1.11959	1.16081	1.09492	1.3404	1.1667	1.09092	1.40761	1.1393	1.27327	1.31468		

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 396.59 t-CO2/年																				
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/kWh)	CO2排出量		月別使用量													
		数量	単位		数量	単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	系統1	590,165	kWh/年	藤田商店	0.000672		396.59	40,863	43,678	49,609	56,529	57,971	55,192	48,543	42,520	45,501	46,001	51,181	52,577	
2	系統2	0	kWh/年		0.00															
3	系統3	0	kWh/年		0.00															
	電気合計				396.59		40,863	43,678	49,609	56,529	57,971	55,192	48,543	42,520	45,501	46,001	51,181	52,577		

2020年度 Scope1+2 1) ガス・重油の場合 Scope1 (燃料) 289.50 t-CO2/年																			
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/GJ)	CO2変換		CO2排出量		月別使用量										
		数量	単位		数量	単位	[t-CO2/年]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	都市ガス	0.00	千m ³ /年	44.8 GJ/千m ³	0.0136	3.666667	0.00												
2	LPG	0.00	kg/t	50.8 GJ/t	0.0161	3.666667	0.00												
3	A重油	0.00	kg/t	39.1 GJ/t	0.0189	3.666667	0.00												
4	灯油	0.04 kL/年	kg/t	36.7 GJ/t	0.0185	3.666667	0.09												
5	軽油	6.32 kL/年	kg/t	37.7 GJ/t	0.0187	3.666667	16.33	0.4473	0.4805	0.6047	0.30795	0.64486	0.4131	0.5405	0.5551	0.56871	0.61481	0.54031	0.60121
6	ガソリン	7.58 kL/年	kg/t	34.6 GJ/t	0.0183	3.666667	17.59	0.75521	0.56601	0.715	0.6277	0.68231	0.6785	0.61347	0.54007	0.68244	0.5459	0.63257	0.54333
					34.02		1.20251	1.04651	1.3197	0.93065	1.32717	1.0916	1.05197	1.25115	1.16071	1.20888	1.14451		

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 255.48 t-CO2/年																					
NO	エネルギーの種別	エネルギー一使用量		排出係数 (tCO2/kWh)	CO2排出量		月別使用量														
		数量	単位		数量	単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	系統1	208,510	kWh/年	藤田商店	0.000497		255.48	103.63	50,360	42,944	51,380	58,137	770	684	723	694	721	730	692	675	
2	系統2	386,395	kWh/年	日本テクノ	0.000393			151.85					62,381	56,957	43,211	37,355	48,522	48,777	43,132	46,060	
3	系統3	0	kWh/年		0.00																
	電気合計				255.48		50,360	42,944	51,380	58,137	63,151	57,641	43,934	38,049	49						

Jクレジット購入

弊社では日頃より脱炭素経営に取り組んでいます。

その取組みの一つとして、令和7年3月7日香川県と、香川県【かがわスマートグリーン・バンク（太陽光発電）】
クレジット売買契約を締結し、20t-CO₂購入いたしました。

（令和6年度実績）

- ・購入者：株式会社百十四銀行
- ・業務内容：預金・貸出業務、為替業務、コンサルティング業務、資産形成業務、外国為替業務等
- ・所在地：高松市亀井町5-1
- ・購入量：500t

- ・購入者：東洋炭素株式会社（詫間事業所からのお申込み）
- ・業務内容：高機能カーボン製品の製造、販売および関連する加工事業
- ・所在地：大阪市北区梅田1-13-1大阪梅田ツインタワーズ・サウス16F
- ・購入量：1,190t

- ・購入者：株式会社富士印刷（観音寺市大野原工場からのお申込み）
- ・業務内容：印刷及び関連する紙加工業、シールラベル製品の製造
- ・所在地：四国中央市川之江町長須192
- ・購入量：20t



sbtservices.com
info@sbtservices.com

APPROVAL LETTER

July 2025

Dear Fuji Graphic Arts Co., Ltd.,

Thank you for submitting your greenhouse gas emission reduction targets to SBTi Services for validation.

Our Team has assessed your company's targets against the SME Criteria Assessment Indicators (v1.0). After a careful review, we are happy to inform you that your submitted targets have been approved.

Basic information about your company and the approved targets will be listed on the [SBTi's Target Dashboard](#). The following agreed target wording will be used:

Fuji Graphic Arts Co., Ltd. commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 46.2% by 2030 from a 2019 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.

Congratulations on your approved science-based targets!

Regards,
SBTi Services

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SBTi Services Limited is a limited company registered in England and Wales (15181058). Registered address: First Floor, 10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE. SBTi Services Limited is a wholly owned subsidiary of Science Based Targets Initiative.



sbtservices.com
info@sbtservices.com

承認書

2025年7月

富士グラフィックアーツ株式会社様

温室効果ガス排出削減目標をSBTiサービスに提出いただき、ありがとうございます。

弊社チームは、貴社の目標を中小企業基準評価指標（v1.0）に照らして評価いたしました。慎重に審査した結果、提出された目標が承認されたことをお知らせいたします。

貴社の基本情報と承認された目標は、SBTiの目標ダッシュボードに掲載されます。合意された目標の文言は、以下のとおりです。

富士グラフィックアーツ株式会社は、スコープ1および2の温室効果ガス排出量を2019年を基準年として2030年までに46.2%削減し、スコープ3の排出量を測定し削減することを約束します。

科学的根拠に基づいた目標の承認、おめでとうございます！

敬具 SBTi
サービス

科学的根拠に基づいた目標
SBTiサービス・リミテッドは、イングランドおよびウェールズで登記された有限会社（番号15181058）です。登記住所：10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE, 1階。SBTiサービス・リミテッドは、Science Based Targets Initiative (SBT) の完全子会社です

令和6年度「かがわ脱炭素取組優秀賞」を受賞

〈取組み内容〉脱炭素への取組の一環として、メイン金融機関と共に脱炭素事業計画を策定した。カーボンニュートラルと、経済発展の同時達成をすべく、省エネ・再エネ設備の拡充を目指す脱炭素に向けた新工場建設に着手し、令和6年1月に竣工。新工場内の照明は全てLEDを採用、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動消灯・節電を採用。空調は排気だけではなく、吸気も行う換気設備を導入し空気の流れを制御することで負荷を軽減、冷暖房コストを抑える。印刷機からの熱を速やかに外へ排気し外部より吸気ができるよう設計・工夫し室内の温度上昇を抑制。

～脱炭素に向けた新工場概要～

令和6年1月16日完成

【写真①】自家消費型太陽光発電設備を設置

【写真②】省エネ・省資源、印刷時に放出される有害化学物質の低減、騒音低減などに取組める、より環境負荷の少ない印刷機「リスロンG40 アドバンス」を新たに導入

【写真③】既存の工場にも据付している、デマンド監視装置を新工場に導入し、「電力の見える化」による省エネに取組んだ。

【写真④】EV充電設備を設置し、EV車を購入した。(令和6年1月購入)

【写真⑤】電動プラッターを購入し、新工場で使用、充電している。(令和5年9月購入)



令和7年3月7日 香川県庁にて

地元新聞社に取材を受け掲載されました

カタログやパンフレット、ポスターなどのデザインデータ作成及び紙加工製品の印刷・加工を手がける富士印刷(観音寺市)は、「ネットゼロ(二酸化炭素・CO₂排出実質ゼロ)社会実現に向けた攻めの脱炭素経営」をスタート。専門家による調査をもとにCO₂排出量を可視化した上で、削減に向けた取り組みに力を入れていていることなどが評価され、令和6年度の「かがわ脱炭素促進事業者表彰」の優秀賞を受賞した。

脱炭素経営に向けた取り組みは、地元金融機関の提案でSDGs(持続可能な開発目標)推進計画を策定し、22年にSDGs行動宣言を行ったのがきっかけ。香川県地域ESG脱炭素投資促進専門事業に申請し、同社事業所(大野原工場、観音寺工場)のCO₂排出量を算定。この算定をベースに、

“攻め”の脱炭素経営へ

富士印刷(観音寺市)

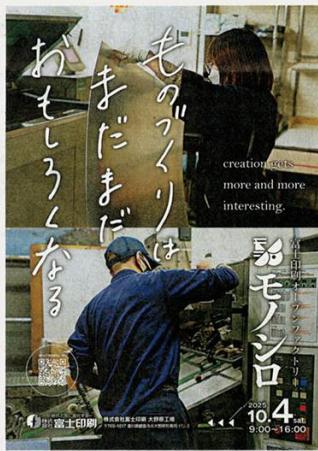
製造工程におけるCO₂排出量を30年度までに21年度比で30%削減し、50年度にはネットゼロとする目標を掲げている。

脱炭素事業拡大を両立するため、観音寺市で省エネ・再エネ設備を拡充した新工場の建設を着手し、年1月に完成した。新工場は自家消費型太陽光発電設備を備え、電源スイッチ機能により不要な場所の照明は自動で消灯するなど節電を徹底している。空調設備も省エネ化。排気も加え、吸気も行う換気設備を導入し、空気の流れを制御することで環境負荷を軽減、冷暖房コストを抑えた。また全ての工場において、デマンド監視装置設置による電力使用量過多の抑制、照明等の完全LED化、使用しているリフトのEV化を行っている。このほか、国際認定SB

T(サインエンス・ベーランド・ターゲッツ)の取得に向けた取り組みが最終段階を迎える。SBTは地球温暖化対策の世界的な枠組み「パリ協定」の目標達成に向け、温室効果ガス削減に取り組む企業の行動計画を科学的に審査・認定しており、認定取得を通過して、脱炭素経営に得をつける。

モニシロを開催し、自社の取り組みを取引先や地域住民に紹介する予定。石川正人代表取締役は「脱炭素は国が決めた方針。情報をいち早く入手し、しっかりと理解すると同時に脱炭素の先に何があるか考えて実践に結び付けることが大事になります。社員全員に浸透するまで、地道に活動を継続していく」としている。

省エネ拡充した新工場稼働



10月4日に新工場を一般公開するオープントアリーを開催する

注目の先進事例 脱炭素化の推進へ

企画 制作／四国新聞社広告局

さらなる脱炭素への取り組みを誓う社員たち



「四国新聞2025年（令和7年）6月21日付」

「四国新聞2025年（令和7年）6月21日付」

富士印刷オープンファクトリー モノシロ開催

2025.10.4 (土)

OPEN▶9:00~16:00



<主催>オープンファクトリー実行委員会

<後援>四国中央市 四国中央市教育委員会 観音寺市 観音寺市教育委員会 27

株式会社富士印刷

地域の皆様から選ばれる会社

誰一人取り残さない社会



脱炭素に関しては、多くの人が
取り残されている
地域、暮らし、社会の
脱炭素推進の
旗振り役を担いたい



社会の中の当社のイメージ図



「想いが
未来を拓く!!」

株式会社 富士印刷

代表取締役 石川 正人

ご清聴
ありがとうございました

